



114号
 仏暦2556 (2012・平成24) 年
 7月11日発行
 呉市中央 7-7-13
 西教寺蔵本通支坊
 TEL 0823 (21) 2798
 FAX 0823 (21) 2795
 www.saikyoji.net
 郵便振替番号
 01340-3-29117
 宗教法人西教寺

畜生—畜わられている生命—

10周年

「でんきを消してスローな夜を。」夏至と冬至の日に二時間ほど電気を消して過ごすイベント、百万人のキャンドルナイトが今年で十周年を迎えます。わが家は開始当初から楽しく参加させてもらっています。

電気を消してみると、色んなことに気づかされます。電気がなかったら暗いし、パソコンも使えない、もちろん仕事もできません。何もできないので、普段しないこ

とをいろいろやって過ごします。毎回はローソクの光で晚餐とまではいきませんが夕食をいただきます。それでも時間が余るので、しりとりをして家族で大笑いしてみたり、アロマキヤンドルを灯してゆつくりお風呂に入ったりします。すると「こんな人生があったんだ」と驚くようなゆつたりとした時間が味わえます。それは同時に、テレビをはじめとする電気製品の恩恵に与りながら、逆にそれらにしがみつき、縛られている

自分の姿に気づかされる体験でもあります。

鳥かご

仏教説話の中にこんな話があります。

鳥かごに山がらが飼われていました。そのほとんどは十分な餌を食べ、よく肥えて元気でした。しかし「羽だけは、餌も食べず痩せ細っていました。仲間がどうして餌を食べないのかを尋ねると「カゴの外に出て大空を飛び回りたいのだ」と言い

でんきを消してスローな夜を

私たちは100万人のキャンドルナイトを呼びかけます。夏至・冬至、夜八時から十時の二時間、みんなでいっせいでんきを消しましょう。ロウソクのひかりで子どもに絵本を読んであげるのもいいでしょう。しずかに恋人と食事をするのもいいでしょう。ある人は省エネを、ある人は平和を、ある人は世界のいろいろな場所で生きる人びとのことを思いながら。プラグを抜くことは新たな世界の窓をひらくことです。それは人間の自由と多様性を思いおこすことであり、文明のもっと大きな可能性を発見するプロセスであると私たちは考えます。一人ひとりがそれぞれの考えを胸に、ただ2時間、でんきを消すことで、ゆるやかにつながって「くらやみのウェーブ」を地球上にひろげていきませんか。

でんきを消して、スローな夜を。
 100万人のキャンドルナイト。

ます。それを聞いた仲間は「ここにいれば安全だし、食べることに不自由はしない。逆に外は何があるか分からないぞ。」と、愚かなことはやめるように言います。それでもその山がらは餌を食べません。やがてさらに痩せ細った山がらは、

カゴの隙間からぬけ出て大空に飛び去っていった、というお話です。

自然の恵みさえあれば幸せに生きてゆけるんです。」とお金と電気という鳥かごの中で畜わられて生きている私の姿が見えてきます。



岩崎智寧 (新住職)